

近隣の市で市庁舎や美術館の計画が進行

最近、蕨市では新市庁舎の、川口市では美術館の計画が進んでいると報道されました。我がさいたま市には、県立美術館はありますが市立美術館は、元浦和市時代に設置された美術館（スペース）が旧中山道に面したビルの3階のワンフロアにひっそりと開館されています。

川口市では美術館がなかったので現市長の強い意向で計画の審議がすすんでいるとのこと。

朝日新聞デジタルによると、埼玉県川口市が美術館の建設に乗り出している。奥ノ木信夫市長が昨年2月に再選した際の公約だ。巨額の建設費と高額になる年間運営費を背景に、新たに乗り出す自治体はなかなかない中、建設計画は進み、年度内にも基本構想がまとまる予定だ。

人口60万人の中核市だが、美術館や博物館がなく「魅力あるまちづくりの実現に欠かせない」（奥ノ木市長）としている。美術館建設は有識者や市民ら15人からなる審議会で検討され、年度内にも基本構想がまとまる。建設予定地は栄町公民館跡地が有力視され、美術館を含めた複合的な施設にする構想がある。と書かれている。



川口市立アートギャラリー・アトリア（JR川口駅近く）市のHPより

一方蕨市では、市役所が老朽化してきたため新庁舎が計画されイメージ図が発表されました。

令和2年4月までに基本設計（案）をまとめ、市民の意見を踏まえながら、新庁舎建設基本設計を策定していく。令和2年秋、市庁舎は仮庁舎等へ移転し、平成35年度中の新市庁舎完成を目指すとのこと。

どんな建物が完成するのか見学したいものです。

